NIE実践報告

1．タイトル：わたしの提言

2．学校名

東京都大田区立東調布第一小学校

3．実践者名（代表者名）

佐野一道

4．学年

第５学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　３３人

6．単元（本時の学習課題）名

「伝え合って考えよう」

7．目標（狙い）

新聞記事から社会問題について考え、友達と意見交換をして、自分なりの提言として発表する。

8．評価の視点

新聞を読んで社会問題の問題点を探り、その問題を解決するための方法を考えて発表できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「続けてみよう」（教科書教材：光村図書）[国語：２時間及び年間を通して、日直のスピーチ]
「伝え合って考えよう」（教科書教材：光村図書）[国語：１２時間]

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①練習として農業に関する記事を読み、要約したり、意見を書いたりする。（３時間）
②自分で記事を選び、要約したり、意見交換したりして、考えをまとめる。（２時間）
③スピーチ原稿を作り、スピーチの練習をする。（３時間）
④スピーチ大会を開く。（４時間）

（留意点）
・提言ができるような記事を選ぶように指導する。
・問題点に対しての提言になるように、何が問題かをしっかり探らせ、それに対しての解決策を考えさせる。
・その時期にニュースが集中する出来事があり、子供たちもその出来事に注目しがちである。同じ出来事でも様々な角度から取り上げると、深い学び合いにつながる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞学習を積み重ねることで、子供たちは「新聞が読めるようになった」と感じ、さらに「新聞を読むのは面白い」と感じるようになった。第５学年ぐらいの児童だと、社会科で農業や工業などを学ぶこともあり、記事が理解できるようになったことも、「記事が読める」と感じられる一因だろう。

12．成果と課題

１年間、新聞学習を国語の教科書単元に沿って取り組んだ。教科書が学習を子供の発達段階に沿って段階的に進めていることもあり、新聞学習もそれに従って段階的に進められたことが、子供の新聞への関心を高め、記事の読みを深めることにつながった。また、教科書単元に取り組むことは、これまでのノウハウを生かすことができることや、購入したワークテストを活用できることもあり、同学年の他の担任も前向きに取り組めたことは大きな成果である。